

第 29 回日本 Shock 学会総会プログラム

2014 年 5 月 16 日 (金)

---

【イブニングセミナー】

17:15~18:15 松山市コミュニティーセンター 大会議室

司会：相引 眞幸 (愛媛大学救急医学)

敗血症治療のターゲットとなるシグナル伝達経路は何か？ -催眠鎮静薬ブロムワレ  
リル尿素を用いた研究からの考察

愛媛大学医学系研究科分子細胞生理学

田中 潤也

---

2014年5月17日 (土)

第 1 会場 松山市コミュニティーセンター 大会議室

8:25~8:30 開式の辞

相引 眞幸 (愛媛大学救急医学)

8:30~9:40 会長賞選考講演・基礎

司会：馬嶋 正隆 (北里大学薬理学)

芝本 利重 (金沢医科大学医学部生理学第二講座)

1. 麻酔薬イソフルレンによる白血球インテグリン活性化抑制  
三重大学医学部分子病態学 島岡 要
2. アナフィラキシーショックにおけるラット腎臓交感神経活動の反応と麻酔薬の影響  
金沢医科大学生理学Ⅱ講座 谷田 守
3. 衝撃波による致死的肺出血マウスに対する人工血小板 (H12-ADP-liposome) の救命効果  
防衛医科大学校生理学講座 萩沢 康介 ほか 9名
4. ラット出血性ショックにおけるTRPV1受容体の関与  
滋賀医科大学外科学講座 赤堀 浩也 ほか 6名
5. ラット敗血症モデルを用いたエンドトキシン吸着療法 (PMX-DHP) の有効性発現機序に  
関する基礎的研究  
防衛医科大学校外科 木村 暁史 ほか 11名
6. マウス盲腸穿孔結紮術による脂肪および肺組織炎症に対するピオグリタゾン前投与の効果  
日本医科大学付属病院消化器外科医局 若林 秀幸
7. ラット敗血症モデルにおける亜硝酸塩の心保護作用  
札幌医科大学医学部麻酔科学講座 川口 亮一 ほか 5名

9:40~10:30 会長賞選考講演-臨床

司会：池田 寿昭（東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部）

織田 成人（千葉大学医学部附属病院救急部・集中治療部）

1. リコンビナントトロンボモジュリンは敗血症性DICの予後を改善させるか？—メタアナリシスによる検討—

日本医科大学千葉北総病院外科 高橋 吾郎 ほか 6名

2. デクスメトミジンは人工心肺を用いた心臓外科手術患者において炎症メディエーターの産生を抑制する

産業医科大学麻酔科学 川崎 貴士 ほか 2名

3. 敗血症性ショック患者におけるT細胞機能障害

藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座武山 直志 ほか 8名

4. 敗血症患者におけるB細胞の免疫機能解析

岐阜大学附属病院救急災害医学科 鈴木 浩大 ほか 4名

5. 初療室における鈍の外傷心停止患者に対する開胸心マッサージの有効性の検討

岐阜大学附属病院救急災害医学科 鈴木 浩大 ほか 4名

---

【特別講演1】

10:40~11:20

Chair : Dr,H.Hirasawa

**INFLAMMATION, METABOLIC STRESS AND AGING: ROLE OF AUTOPHAGY AND MITOCHONDRIAL BIOGENESIS IN MULTIPLE ORGAN FAILURE IN SEPSIS AND TRAUMA.**

Basilia Zingarelli Division of Critical Care Medicine, Department of Pediatrics, Cincinnati Children's Hospital Medical Center, and College of Medicine, University of Cincinnati, Cincinnati Ohio, USA.

【特別講演2】

11:30~12:20

Chair : Dr,S.Ogura

**Endothelial Progenitor Cells and CXCL12; Implications in Sepsis**

*James Cook, Professor; Department of Neuroscience, Medical University of South Carolina,*

*Charleston, SC, USA*

---

【Keynote Lecture】

12:40～13:30

司会：相引 眞幸（愛媛大学救急医学）

日本 Shock 学界の歴史と今後の展望

日本蘇生協議会 会長 岡田和夫

---

13:45～14:15 総会

15:50～17:30 シンポジウム

司会：宮下 正夫（日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科）

小野 聡（防衛医科大学校病院上部消化管外科）

1. 高齢マウスを使った敗血症の研究 (Sepsis Research Using Aged Mouse Models)

齋藤 博 (Hiroshi Saito, Ph.D.)

University of Kentucky, Lexington, KY, U.S.A

2. 新しい肺炎+敗血症モデルの作成

黒澤晋一郎 (Shinichiro Kurosawa, MD, PhD)

Boston University School of Medicine, Boston, U.S.A

3. 炎症反応の増幅機構のミッシング・リンクを探して—システイン SH 基の翻訳後修飾の役割

金木正夫

ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院  
麻酔・集中治療・疼痛医学教室

17:40～17:50 閉会の辞

第2会場 松山市コミュニティーセンター 第8+第9会議室

14:30～15:30 ポスター

ポスター1-臨床&基礎

司会：井上 茂亮（東海大学医学部外科学系救命救急医学）

1. 敗血症性ショックを伴う尿路感染症患者に対する免疫グロブリン投与の効果：DPCデータを用いた検討

産業医科大学病院救急部

大坪 広樹 ほか 9名

2. 出血性ショック後の腎障害におけるIL-10の役割—HSP27.HSP40.HSP70の関連性—

近畿大学医学部附属病院救命救急センター村尾 佳則

3. マウス肺炎球菌肺炎／敗血症モデルにおけるシベスタットナトリウム水和物の効果  
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 加藤 真優 ほか 8名
4. 血小板機能におけるRacの役割：抗炎症作用の分子機序解析  
一宮市立市民病院救命救急センター 土井 智章 ほか 3名
5. 免疫老化が敗血症に与える影響  
東海大学医学部外科学系救命救急医学 井上 茂亮 ほか 5名
6. フラジェリンにより引き起こされる肺線維化について  
琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座 近藤 豊 ほか 1名

#### ポスター2-臨床

司会：梅垣 修（大阪医科大学集中治療部）

1. 周術期に敗血症性ショックを来した経尿道的尿管結石破碎術の2症例  
杉岡記念病院麻酔科 川崎 知佳 ほか 2名
2. 血小板減少の原因検索に難渋し抗DIC薬投与を逡巡した鼻出血の一症例  
大阪医科大学集中治療部 梅垣 修 ほか 3名
3. 全身性多発筋間膿瘍による敗血症性ショックの一例  
東京女子医科大学救急医学 芝原 司馬 ほか 7名
4. 胃癌術後1日目に発症したseptic shock/ARDSに対してECMOを導入し救命しえた1例  
札幌医科大学集中治療医学 巽 博臣 ほか 6名
5. 当院における院内急変対応システムの現状と問題点  
札幌医科大学集中治療部 升田 好樹 ほか 10名

#### ポスター3-基礎

司会：矢野 元（愛媛大学医学系研究科分子細胞生理学）

1. アナフィラキシーショックの防御機構の実験的検討  
金沢医科大学医学部生理学第二講座 芝本 利重
2. 起炎症性反応における転写因子IRF8とNF $\kappa$ Bの役割  
愛媛大学大学院医学系研究科分子細胞生理学 河本 智里 ほか 4名
3. マウス肝損傷モデルを用いたDAMPsの検討  
慶應義塾大学医学部救急医学 渋谷 崇行 ほか 6名
4. ブロムワレリル尿素による敗血症治療可能性の検討  
愛媛大学医学部分子細胞生理学 川崎 俊 ほか 6名
5. ノルアドレナリンの抗炎症作用：ラット一次培養マイクログリアを用いた研究  
愛媛大学医学系研究科分子細胞生理学 石井 友里加 ほか 3名